

第4回

# ジュリアード音楽院 声楽オーディション

by IFAC IFAC-Juilliard Prize  
Singing Competition



Alice Tully Hall-The Juilliard School  
(ジュリアード音楽院 アリス・タリー・ホール)

問い合わせ・応募先

NPO 法人 世界芸術文化振興協会 (IFAC)  
ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC 係  
〒167-0053 東京都杉並区西荻南 2-18-9 菱研ビル 2階  
TEL : 03-5336-3507  
<http://www.ifac.or.jp/>



[予選]

関東予選 2013年 7月1日(月)・2日(火)  
浜離宮朝日ホール

関西予選 2013年 7月4日(木)  
イシハラホール

[公開講座]

2013年 7月29日(月)・30日(火)  
第一生命ホール

[本選]

ファイナルジャッジメント  
2013年 9月9日(月)・10日(火)  
新国立劇場オペラパレス

ファイナルウィナーズ・ジャッジメント  
2013年 9月10日(火)  
新国立劇場オペラパレス

主催/Sponsor

NPO 法人

世界芸術文化振興協会 IFAC

International Foundation for Arts and Culture (NPO)

共催/Co-sponsor

ジュリアード音楽院 Juilliard

The Juilliard School

後援/Support

一般財団法人

東京芸術財団

General Incorporated Foundation

TOKYO ART FOUNDATION



このオーディションは、音楽教育の世界最高峰とされるジュリアード音楽院声楽科に、才能ある声楽家を日本から送る目的で開催されます。主催は、NPO法人世界芸術文化振興協会 (IFAC)。共催は、ジュリアード音楽院による公式オーディションです。

このオーディションの最優秀賞受賞者には、ジュリアード音楽院の1次試験が免除され、2次試験を受ける資格が与えられます。そして、ジュリアード音楽院2次試験に合格した場合、IFACより5万USドル相当の奨学金、(ジュリアード音楽院授業料1年分、学生寮費用1年分)が授与されます。

「第1回IFAC・ジュリアード最優秀賞」受賞者 <sup>たかおき</sup>大西宇宙さんは、現在ジュリアード音楽院に入学し、オペラ公演に出演し、多くのコンクールにも優勝して、大活躍しています。

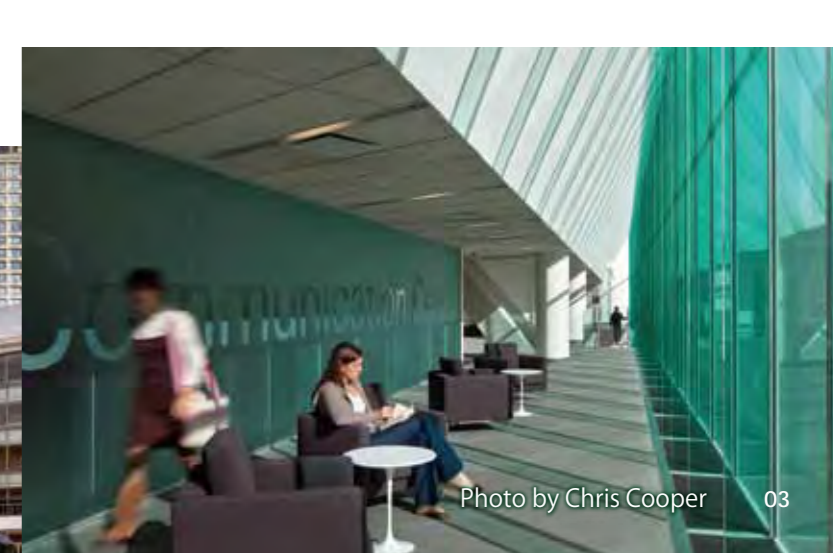
“IFAC-Juilliard Prize Singing Competition” will be held in Japan. The purpose of this competition is to send talented Japanese singers to The Juilliard School in New York City which is one of the world’s best music education institutions. This competition is officially sponsored by the International Foundation for Arts and Culture (IFAC) and co-sponsored by The Juilliard School.

This audition is considered as the first-stage audition at The Juilliard School. The winner will be exempt from taking the first-stage audition and will qualify for a live second-stage audition at The Juilliard School in New York City. If successful, the winner will be awarded a scholarship to the value of 50,000 US dollars (for one year’s tuition and dormitory fees). Last year’s winner has passed the second stage audition and been offered conditional admission to The Juilliard School.

Takaoki Onishi, the recipient of the highest award in the 1st IFAC-Juilliard Prize Singing Competition is currently enrolled in the Juilliard School and is having great success in New York, including being selected to perform in major opera performances and the Juilliard Honors Recital.

## CONTENTS

- 04 **ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC 予選・本選概要**  
IFAC-Juilliard Prize Singing Competition Pre-screening and Finals outline
- 05 **授与される賞について**  
About the Prizes
- 06 **ごあいさつ** 半田晴久 (NPO 法人 世界芸術文化振興協会 会長)  
Greetings Dr. Haruhisa Handa (Chairman - International Foundation for Arts and Culture)
- 07 **ジョセフ・W・ポリシ** (ジュリアード音楽院 学長)  
Dr. Joseph W. Polisi (President - The Juilliard School)
- 08 **栗林義信** (NPO 法人 世界芸術文化振興協会 副会長)  
Prof. Yoshinobu Kuribayashi (Vice Chairman - International Foundation for Arts and Culture)
- 09 **ブライアン・ジーガー** (ジュリアード音楽院声楽部長)  
Dr. Brian Zeger (Artistic Director of Vocal Arts - The Juilliard School)
- 10 **デイビッド・ポール** (ジュリアード音楽院 教員)  
Mr. David Paul (Faculty of the Juilliard School)  
**ケン・ノダ** (メトロポリタン歌劇場音楽監督ジェームス・レバイン・アシスタント)  
Mr. Ken Noda (Metropolitan Opera Musical assistant to James Levine)
- 12 **予選の詳細** Details of Pre-screening  
**本選の詳細** Details of Final Competition
- 14 **応募について** Application
- 16 **第一回 最優秀賞を受賞して 大西宇宙**  
Message from Mr. Takaoki Onishi, winner of the inaugural Juilliard Prize in 2009
- 18 **第二回 オーディションを受験して 竹下みず穂**  
Message from Ms. Mizuho Takeshita, winner of the Juilliard Prize in 2010
- 20 **ジュリアード音楽院への提出書類について**  
Application Requirements for Admission to The Juilliard School
- 21 **特定非営利活動法人 (NPO) 世界芸術文化振興協会 (IFAC) について**  
About the International Foundation for Arts and Culture (IFAC)
- 22 **IFAC オペラの紹介**  
Activities of "IFAC Opera"



# 予選・本選概要

## 予選 Pre-screening

○関東予選 日 時：7月1日(月)・2日(火)14:00～(13:30開場)  
会 場：浜離宮朝日ホール

Tokyo : Monday, July 1 and Tuesday, July 2 Venue : Hamarikyū Asahi Hall

○関西予選 日 時：7月4日(木)14:00～(13:30開場)  
会 場：イシハラホール (大阪市西区)

Osaka : Thursday, July 4 Venue : Ishihara Hall

## 公開講座 Workshop

日 時：7月29日(月)・30日(火)14:00～(13:30開場)  
会 場：第一生命ホール

Date : Monday, July 29 and Tuesday, July 30 Venue : Dai-ichi Seimei Hall

予選通過者には、ジュリアード音楽院声楽部長、ブライアン・ジーガー氏と、メトロポリタン歌劇場音楽監督、ジェームス・レバイン・アシスタントのケン・ノダ氏による、公開講座を受講いただきます。

※この公開講座は一般公開され、無料で聴講できます。

## 本選 Finals

○第1部 ファイナル・ジャッジメント(ワークショップ)  
9月9日(月)・10日(火)  
会 場：新国立劇場オペラパレス

### Part1 Final Judgment

Date : Monday, September 9 and Tuesday, September 10

Venue : The Opera House in the New National Theatre, Tokyo

○第2部 ファイナル・ウィナーズ・ジャッジメント(ジュリアード音楽院入学1次試験)  
9月10日(火)21:30～

会 場：新国立劇場オペラパレス

### Part2 Final Winners Judgment

Date : Tuesday, September 10

Venue : The Opera House in the New National Theatre, Tokyo

※予選、公開講座、本選は無料一般公開致します。

※ Pre-Screening, Workshop and Finals will be open to the public.

## 授与される賞について

オーディション最優秀者には、「IFAC・ジュリアード最優秀賞」もしくは「IFAC・ジュリアード奨励賞」のいずれかが授与されます。

### IFAC・ジュリアード最優秀賞

IFAC・ジュリアード音楽院1次試験合格と認められた方に授与される賞です。

1. ジュリアード音楽院声楽科入学2次試験受験資格
2. NYジュリアード音楽院にて、プライベートレッスン(4日～1週間程度)
3. ニューヨークへの渡航宿泊費(総額50万円相当)
4. 「英検一級・TOEIC・TOEFL塾」受講(総額100万円相当)
5. ジュリアード音楽院に入学された場合には、US5万ドル相当の奨学金(1年間分の授業料と学生寮費)を授与致します。

### IFAC・ジュリアード奨励賞

IFAC・ジュリアード最優秀賞の該当者がいなかった場合に、最優秀者へ授与される賞です。

1. NY ジュリアード音楽院にて、プライベートレッスン(4日～1週間程度)
2. ニューヨークへの渡航宿泊費(総額30万円相当)

### Dr. Handa Encouragement Prize

優秀な方に、更なる向上心を持ち、再び挑戦して欲しいとの気持ちを込め、IFAC 半田会長より賞状と記念品を授与致します。(若干名)

## About the Prizes

The best singer will receive "IFAC-Juilliard Prize" or "IFAC-Juilliard Encouragement Prize".

### IFAC-Juilliard Prize

This prize will be awarded to the person who has been recognized as the Successful candidate of the Juilliard primary test.

1. Qualification for the final audition at The Juilliard School to be held in March 2014
2. Voice lessons at The Juilliard School in NYC (4 days - a week)
3. Round-trip air ticket between Japan and NY and accommodation to the value of 500,000 Yen
4. Free English course lessons at Eiken-ikkyū/ TOEIC/ TOEFL Juku to the value of 1,000,000 Yen
5. Scholarship of up to \$50,000 to cover the cost of tuition, room and board for one year

### IFAC-Juilliard Encouragement Prize

If there is nobody qualified for "IFAC-Juilliard Prize", the best singer will receive this prize.

1. Voice lessons at The Juilliard School in NYC (4 days - a week)
2. Round-trip air ticket between Japan and NY and accommodation to the value of 300,000 Yen

### Dr. Handa Encouragement Prize

This will be awarded to a singer or possibly singers chosen from the finalists, and a testimonial and a memento will be given.



**半田晴久** NPO 法人 世界芸術文化振興協会 会長  
**Dr. Haruhisa Handa** Chairman - International Foundation for Arts and Culture (IFAC)  
 Opera Singer

同志社大学経済学部卒業 (BA)。武蔵野音楽大学特修科声楽専攻卒業。西オーストラリア州立エディンバラ大学芸術学部卒業、創造芸術学修士 (MA)。中国国立清華大学美術学院美術学学科博士課程修了。文学博士 (Ph.D)。中国国立浙江大学大学院中文学部博士課程修了。文学博士 (Ph.D)。ジュリアード音楽院名誉文学博士。シドニーオペラハウス専属国立オペラ・オーストラリア総裁、及びゲストアーティスト。有明教育芸術短期大学教授。

Doshisha University (BA in Economics). An advance course in vocal music at Musashino Academia Musicae (Dip.). Western Australian Academy of Performing Arts at Edith Cowan University (MA). The Academy of Arts and Design at Tsinghua University in Beijing (Ph.D). The Study of Chinese Classical Texts at Zhejiang University in Hangzhou (Ph.D). The Juilliard School (Honorary Doctorate of Humane Letters). Honorary Patron and Guest Artist of Opera Australia, national opera company, resident at the Sydney Opera House. Professor of Vocal Music at Ariake College of Education and the Arts, Japan

このオーディションは、ジュリアード音楽院と世界芸術文化振興協会 (IFAC) が協力して、若い才能を育てる特別プログラムです。

これまでIFACでは、世界五大バリトンの一人グレゴリー・ユリシッチ氏と、共同でオーストラリアにオーストラリアン・オペラスタジオ (AOS) を設立し、若き声楽家達が、世界の一流舞台で通用する実力をつけるべく、ユニークで実践的な教育を行ってきました。こうして、AOSで実際の舞台経験を重ねたアーティスト達は、AOSを卒業した後、オセアニア地域の8大音楽コンクールの内、6大会で優勝し、それぞれ世界中のオペラハウスで活躍しています。これらの経験をふまえ、オペラ歌手をめざす学生達のために、今度はジュリアードで新たなプログラムを行なうのです。

IFACは、1999年にジュリアード音楽院と調印し、10年間声楽科のオペラ卒業公演を支援しました。この実績を経ての、新プロジェクトなのです。

言うまでもなく、ジュリアードは、世界中の音楽家が憧れる音楽の殿堂です。私自身、40才で声楽を学び始めてから、世界中で30人以上の先生から学びました。音大も2つ卒業したのです。ジュリアードでも、学長の紹介で有名な二人の先生から、プライベートレッスンを受けました。このときの体験は、本当に素晴らしいものでした。

過去3回のオーディションでは、ジュリアードからブライアン音楽部長が来日され、審査のほかに、受講者を対象としたワークショップを行いました。このワークショップも、ジュリアード教育の片鱗をうかがわせる、感動的な内容だったのです。

日本の若き声楽家達にも、ぜひジュリアードで学んで頂きたい。そして、このIFACのプログラムを通して、世界にチャレンジし、世界の壁を超えて頂きたい。そんな気概と、才能ある若者のトライに、今年も期待しています。



**ジョセフ・W・ポリシ** ジュリアード音楽院 学長  
**Dr. Joseph W. Polisi** President The Juilliard School

コネチカット大学 (BA)。タフツ大学フレッチャー法律外交大学院 (MA)。イエール大学 (Ph.D 音楽芸術)。パリ国立高等音楽院にて、2年間学ぶ。イエール音楽学校 常務執行役 (1976-1980)。マンハッタン音楽学校音楽学部長 (1983-1984)。シンシナティ大学音楽学部長 (1983-1984)。

The University of Connecticut (BA)  
 The Fletcher School of Law and Diplomacy, at Tufts University. (M.A)  
 Yale University (Ph.D. of Musical Arts) The Conservatoire de Paris (1973-1974)  
 Executive Officer The Yale School of Music (1976-1980)  
 Dean of the music department at the Manhattan School of Music (1983-1984) and the  
 University of Cincinnati College-Conservatory of Music (1983-1984)

私の友人半田晴久博士と世界芸術文化振興協会に対し、「ジュリアード賞」としてここに結実した、博士らの熱意と先見性に心から賛辞を送り、また篤く感謝申し上げます。

1999年から、半田博士はジュリアードの声楽科に、毎年多額の御寄付を下さいました。そのおかげで、多くの声楽科の学生が、ジュリアードオペラ公演に出演することができたのです。

ジュリアード賞は、世界芸術文化振興協会から再度、寛大なる多額の御寄付をいただいて創設されたものです。当音楽院の声楽教育をさらに強化することになります。半田晴久博士は、ご自身が著名なオペラ歌手であり、音楽家でもあります。このジュリアード賞創設により、私達に非常に光栄を授けて下さったと言えます。このコンクールは、日本全国から有望な若手声楽家を集める、貴重な機会となるはずで。

ジュリアード賞は、当音楽院にとっても、いろいろな意味で画期的なものです。まず、当音楽院が賞を与えるコンクールが、当音楽院以外の場所で開催されたことは今までありません。これは、近年の素晴らしい技術進歩があって、初めて可能になったことです。衛星中継を通して、ニューヨークの音楽院声楽科教員一同が、現在新進気鋭の日本人声楽家の歌唱を、じっくり鑑賞できることになりました。むろん日本では、東京音楽大学名誉教授、栗林義信氏に特にご協力いただき、声楽部長ブライアン・ジーガーが、訪日して審査員団に加わります。

こうして、世界芸術文化振興協会のご支援を受け、最優秀となった声楽家をニューヨークに招待し、ジュリアードのオーディションを受けて頂きます。もし、万が一不合格となった場合でも、本当はその学生がジュリアード入学を許可されるより、もっと大切なことがあるのです。それは、ジュリアード賞そのもの、それを体現する志そのものが、両国の橋渡しをすることなのです。この賞がきっかけとなり、才能ある若手声楽家を見出し、育てようとする気運が、さらに高まることを心から望むものです。

It is with great enthusiasm that I thank the International Foundation for Arts and Culture (IFAC), and particularly our good friend, Dr. Haruhisa Handa, for the imagination and farseeing devotion to the vocal arts that has now borne fruit in the Juilliard Prize.

In 1999, Dr. Handa made a singularly generous commitment to Juilliard's Vocal Arts Department that has enabled many exceptionally talented students to perform in Juilliard's opera performances over the years. The development of the Juilliard Prize comes out of another extraordinarily generous commitment from IFAC that will further strengthen Juilliard's educational resources in the vocal arts. With the creation of the Juilliard Prize, Dr. Handa - himself a noted opera singer and a devoted musician - has bestowed a wonderful honor upon us. This competition will be a magnificent opportunity to showcase vocal talent from throughout Japan.

The Juilliard Prize represents something quite new for Juilliard - this will be the first time that the judging of any prize at Juilliard will occur remotely, through the technological wonders now available to us. Under the expert guidance of Professor Kuribayashi, professor emeritus of the Tokyo College of Music, we are confident that our distinguished faculty, including the department's director, Brian Zeger, who will join you in Japan for the judging, will deeply appreciate this unparalleled opportunity to hear the finest of current Japanese talent.

In collaboration with IFAC, we will bring the best of these gifted young singers to New York City to audition at Juilliard. Whether or not the winners of the prize are granted acceptance to Juilliard in any given year, the Juilliard Prize, and the dedication to excellence that it represents, will form a bridge between our two countries that will mutually enrich our desire to ensure that exceptional vocal talent is heard and appropriately recognized, wherever it may flourish.

The Juilliard School and the International Foundation for Arts and Culture are combining to foster young talent.

IFAC has conducted a special program in the past in collaboration with one of the five great baritones of the world, Gregory Yurisich. After establishing the Australian Opera Studio (AOS) a practical and unique program was undertaken there to give young singers the ability to perform on any of the world's top opera stages. Artists at the AOS built up real stage experience through this program. Graduates have taken top prizes in six of the eight major vocal competitions in Oceania and their international careers have taken off. Based on the experience gained from this program, a new program for budding operatic talents will be undertaken at The Juilliard School.

The cooperation between IFAC and The Juilliard School dates back to 1999. IFAC has been supporting opera productions by students of Juilliard's vocal arts department for the last ten years. The new program signifies a further development of the relationship.

It goes without saying that The Juilliard School is the primary beacon in the temple to music to which musicians around the world aspire. Since starting opera studies at the age of 40, I myself have studied with more than 30 teachers around the world as a tenor and baritone. I have graduated from two music colleges. I studied with two famous teachers at Juilliard thanks to the president's kind introduction, and I can say my experiences then were absolutely wonderful.

I really hope that young Japanese singers also experience The Juilliard School. And I sincerely hope that through this IFAC program they might try themselves on the world stage and develop into world-class singers.



**栗林義信**  
Prof. Yoshinobu Kuribayashi

NPO 法人 世界芸術文化振興協会 副会長  
Vice Chairman - International Foundation for Arts and Culture (IFAC)

東京藝術大学(BA)。ミラノスカラ座研究生(日本人初)。ヴィオッティ国際コンクール金賞(1958)。サントリー音楽賞(1973)。芸術選奨文部大臣賞受賞(1981)。紫綬褒章受章(1999)。日本芸術院賞恩賜賞受賞(2006)。元東京二期会理事長。東京音楽大学名誉教授。

Tokyo University of the Arts (BA)  
The first Japanese research student of Teatro alla Scala  
The Gian Battista Viotti International Music Competition Gold Prize (1958)  
Suntory Music Award (1973)  
Award for Arts by Minister of Education and Culture (1981)  
Medal with Purple Ribbon (1999)  
The Imperial Award of the Japan Art Academy (2006)  
The former Chair of the Board of Directors of Tokyo Nikikai Opera Foundation  
Professor emeritus of Tokyo College of Music

世界芸術文化振興協会(IFAC)とジュリアード音楽院が協力し、ジュリアード声楽科への入学オーディションを日本で開催できることを、大変うれしく思っています。

今まで、何人の日本の音楽家達が、ジュリアードへ挑戦してきたことでしょうか。私自身、日本の若き音楽家達を、こうしたかたちでジュリアードへ送り出せる日が来るとは、考えてもみなかったことです。このオーディションの開催により、世界トップレベルであるジュリアードへの窓口が、日本にできたことは大変素晴らしいことです。非常に画期的で、有意義な、まさに夢のような出来事です。

20世紀初頭に、ジュリアードが創立された当初の目的は、ヨーロッパのコンセルヴァトワールに負けない学校を作るためだったと伺っております。しかし、いまジュリアードは、世界最高レベルの音楽院として、ヨーロッパ諸国をはじめ、世界中から若き音楽家達がジュリアードに憧れ、集まっています。

また、ジュリアードは、メトロポリタン・オペラとパートナーシップを組み、若いオペラ歌手の育成にも力を入れています。日本の才能あふれる若者達が、こうした世界トップクラスの学校で存分に学び、世界の舞台で活躍するきっかけをつかんでくれれば、これほど嬉しいことはありません。

このオーディションにより、次世代の音楽界を担う素晴らしい芸術家が、一人でも多く世界へ羽ばたいていくことを、心より願っております。皆様の未来の活躍に期待するとともに、たくさんのご応募をお待ちしています。

I am very glad that the International Foundation for Arts and Culture (IFAC) and The Juilliard School have collaborated to hold auditions in Japan for entry to The Juilliard School to study singing.

Countless Japanese musicians have in the past taken themselves up to the challenge of studying at The Juilliard School. I myself have never even considered that the day would come when we could send off our young singers to The Juilliard School in this way. It is wonderful that these auditions have opened up an avenue in Japan to this world-class school. It is a groundbreaking development of extraordinary significance, and I must say, it really is like a dream.

I understand that when The Juilliard School was established early in the 20th century, its aim was to develop into a school to rival the conservatoires of Europe. But now, it is renowned across the world as a musical institution of the highest level and young musicians from the world over, including Europe, aspire to study at The Juilliard School.

The school has also formed a partnership with the Metropolitan Opera and is putting its energies into cultivating young opera singers. There would be nothing more pleasing than to see young talented people from Japan make the most of the opportunity to study at such a top-class school and then flourish on the world stage.

I sincerely hope that with these auditions, as many as possible of the top-level musicians of tomorrow take flight into the world. I look forward to seeing you all apply and I hope your careers flourish into the future.



**ブライアン・ジーガー**  
Dr. Brian Zeger

ジュリアード音楽院 声楽部長  
Artistic Director of Vocal Arts The Juilliard School

ハーバード大学(BA)。ジュリアード音楽院(M.A)。マンハッタン音楽学校(Ph.D)。1993年より、ジュリアード音楽院で教鞭を執る。2004年より、ジュリアード音楽院声楽科芸術監督、現在に至る。メトロポリタン歌劇場リンデマン・ヤング・アーティスト育成プログラム エグゼクティブディレクター。

Harvard College(BA)  
The Juilliard School (M.M.)  
Manhattan School of Music (D.M.A.)  
The Juilliard School Faculty since 1993  
The Juilliard School, artistic director of vocal arts since 2004  
the Executive Director of the Metropolitan Opera Lindemann Young Artist Development Program

「ジュリアード賞」が創設されましたことは、ジュリアード音楽院にとって、たいへん画期的な出来事です。私はジュリアード音楽院声楽部長として、メトロポリタン・オペラのリンデマン若手音楽家養成プログラム総監督として、またピアニスト、伴奏者として世界各地を公演旅行します。そして、世界のどこへ行っても、アジア出身者、とりわけ日本人音楽家の力量に、深い感銘を受けてきました。日本人は昔から、西洋音楽に驚くべき順応性を発揮してきました。むろん現在も、多くの日本の音楽家が、世界各地で第一級の活躍をしているのは周知の通りです。

ジュリアード賞は、半田晴久博士と世界芸術文化振興協会の、篤志とビジョンにより実現したプログラムです。この賞を通して、最も才能ある日本人若手音楽家を見出し、多くの人の憧れであるジュリアード音楽院入学のために、オーディションを提供するものです。これは、将来的に当音楽院にとっても、新たな才能を受け入れる重要な賞となることは間違いありません。また、将来性のある日本人声楽学生や教師にとっても、ジュリアード賞は夢の実現へ向けて大きな励みとなることを確信しています。今秋日本を訪れ、才能あふれる若手音楽家たちの歌声を聴くことを楽しみにしています。

The Juilliard Prize is an exciting and timely new venture for The Juilliard School. In my travels, as Director of the Vocal Arts Program at Juilliard, Executive Director for the Metropolitan Opera's Lindemann Young Artist Development Program, and as a performing pianist and accompanist, I have been consistently struck by the wealth of vocal talent that exists in Asia, particularly in Japan. Japanese musicians have long displayed a wonderful responsiveness to the Western classical music tradition. Many of today's finest performers throughout the world originate from Japan.

The generous and visionary Juilliard Prize, the superb conception for which we must thank Dr. Haruhisa Handa and the International Foundation for Arts and Culture, will prove an important resource for Juilliard as we seek to discover the most talented young singers in Japan and give them an opportunity to audition for a coveted spot among Juilliard's incoming class. Further, it is my profound hope that the existence of the Juilliard Prize will also give Japanese students and their teachers an international perspective while inspiring gifted young people with ambitions to be performing artists to reach for their dreams. I very much look forward to being in Japan this fall to hear these exceptionally talented singers in person.



**デイビッド・ポール** ジュリアード音楽院 声楽部演技指導  
Mr. David Paul Stage Director / Acting teacher, The Juilliard School

コロンビア大学卒業（首席）。ワシントン・ナショナル・オペラ ドミンゴ・カフリッツ・ヤング・アーティスト・プログラム。  
ジュリアード音楽院教員（2010年～）。また、コロンビア大学演劇学部教員や、ウェストミンスター・クワイアー大学教員を務める。  
メトロポリタン歌劇場リンデマン・ヤング・アーティスト・デベロップメント・プログラム指導員。

Columbia University (B.A: summa cum laude)  
Washington National Opera's Domingo/Cafritz Young Artist Program  
Faculty of the Juilliard School  
Faculty of the Columbia University Department of Theatre,  
Faculty of Westminster Choir College  
Faculty of the Lindemann Young Artist Development Program at the Metropolitan Opera

才能豊かな声楽家が、日本にたくさんいらっしゃることは、アメリカやヨーロッパのオペラ団体や、声楽の指導者の間でよく知られています。ジュリアードとIFACが、「ジュリアード賞」を創設し、日本の優秀な声楽家に、ジュリアードへの門戸を開いたことは、とても画期的で、価値あることだと感激しております。

ジュリアード音楽院で指導にあたる、私にとって、日本の才能あふれる、若き声楽家と接する機会を得られるのは、大変嬉しいことです。日本の学生は、才能があるだけでなく、練習量や集中力においても、目を見張るものがあります。ですから、良き指導者と環境が整えば、世界の舞台で活躍するチャンスは、十分あると思います。日本の優秀な声楽家の皆様が、ジュリアードの教育プログラムを体験し、音楽性や、役者としての実力を高めていただければ、指導者として、これほど嬉しいことはありません。半田博士により、日本の才能ある声楽家を、ジュリアードへ送る架け橋が作られたことを、教職員一同、とても感謝しております。

ジュリアードでは、若き才能ある音楽家を発掘し、彼らがキャリアを積み重ね、世界の舞台で羽ばたけるよう努めています。IFAC主催の「ジュリアード賞」は、日本の優秀な声楽家に出会う、すばらしい機会をジュリアードに提供してくれました。先見の明のある半田晴久博士のおかげで、これが新たな伝統となることでしょう。この賞が、今後も素晴らしい成果を残し、才能ある声楽家を、日本から世界へ輩出するよう願ってやみません。

The wealth of vocal talent in Japan is a well-known fact among opera administrators and voice educators in the United States and in Europe. As the Dramatic Advisor for the Juilliard School's Master of Music and Graduate Diploma program, I am very happy that Juilliard and IFAC have established the Juilliard Prize, and that we have this opportunity to work with and hear some of the most spectacular talent in Japan. I speak on behalf of our faculty in saying that we are consistently impressed not just with the talent, but also with the training, focus, and work-ethic that our Japanese students display. As a teacher, I always delight in working with Japanese students on deepening and enriching their performance as singers and as actors. They are extraordinarily responsive to our teaching, and always work hard to succeed at the challenges we present. The faculty and I are very grateful for Dr. Handa's continued efforts to advance Japanese vocalists and provide them this fantastic opportunity to sing for us.

At the Juilliard School, we are committed to discovering the greatest talent in the world, and to help these young musicians progress towards a career and succeed on the world's stages. IFAC and the Juilliard Prize have created a great opportunity to continue this work and allow us at Juilliard to help the greatest talent in Japan reach its fullest potential. The visionary leadership of Dr. Haruhisa Handa enables this great new tradition to continue. We are looking forward to many years of great results, and many great careers that can be born here.



**ケン・ノダ** メトロポリタン歌劇場音楽監督ジェームス・レバイン・アシスタント  
Mr. Ken Noda ピアニスト  
Musical Assistant to James Levine on the Artistic Administration of the Metropolitan Opera.  
Pianist

ダニエル・バレンボイムに師事、ソリストとして共演したオーケストラは、ベルリン、ウィーン、ニューヨーク、パリ管弦楽団、ロンドンなど、多数。  
伴奏者として、キャスリーン・バトル、パールマン、ズッカーマン、ヒルデガルト・ベーレンス、マリア・ユーイングなど、数々の著名な音楽家と共演する。  
1999年より、マールボロ音楽祭に招待される。  
メトロポリタン歌劇場では、リンデマン・ヤング・アーティスト育成プログラムで、若い歌手の育成に貢献。ジュリアード音楽院では、オペラや声楽の教鞭を執る。

Studied with Daniel Barenboim and performed as soloist with such orchestras as the Berlin, Vienna, New York, Orchestre de Paris, London, and so on.  
As accompanist to Kathleen Battle, Perlman, Zukerman, Hildegard Behrens, Maria Ewing, and so on. He has been a regular participant at the Marlboro Music Festival since 1999.  
At the Met, he devotes much of his time to the training of young singers in the Lindemann Young Artist Development Program and also gives opera and lieder master classes at Juilliard.

IFACとジュリアード音楽院による、この素晴らしい協同プログラムに参加できることは、私にとって、この上ない喜びです。その理由は、いくつかあります。私の両親は、日系アメリカ人1世で、私が生まれる少し前に、アメリカへ移住しました。私は幼少より、毎年、夏に日本へ行き、歌舞伎を鑑賞する機会に恵まれました。お陰で歌舞伎のファンになり、そして、オペラにも興味を持つようになったのです。なぜなら、歌舞伎は、とてもオペラに似ているからです！

7歳で、ジュリアード音楽院プレカレッジに入学してから、私にとって、ジュリアードは、かけがえのない場所になりました。入学してから数年後、子供合唱団の団員としてジュリアード・オペラ「ラ・ボエーム」に出演致しました。それがきっかけとなり、私はオペラ愛好家になったのです。なお、私がジュリアードの恩恵を受けたのは、幼少期だけではありません。最近では、2005年より、ジュリアードで、オペラと声楽の講師を務めています。このように、幼少期から現在に至るまで、私の人生は、日本とジュリアードから恩恵を受けているのです。

私は、メトロポリタン歌劇場で、ジェームス・レヴァイン音楽監督のアシスタントを、23シーズン務めています。メトロポリタン歌劇場は、1975年から日本公演を行っており、日本の皆様にたいへん好意を持っています。また、2010年、メトロポリタンオペラ・リンデマン・ヤング・アーティスト・デベロップメント・プログラムと、ジュリアード・ボーカル・プログラムは、パートナーシップを結びました。これにより、第1回ジュリアード賞受賞者の、大西宇宙さんが、2012年シーズンのオペラコンサートにおいて、レヴァイン指揮による、メトロポリタン歌劇場管弦楽団と共演する機会を得たのです。

私は日系2世ですが、日本人でもある、アメリカ人だと思っています。ですから、日本の才能のある若き歌手にお会いし、アメリカにお招きできることを、心より楽しみにしています。

I am especially excited to be taking part in the IFAC-Juilliard venture for several reasons. My parents are first-generation Japanese who emigrated to the USA shortly before I was born. It was during our annual summer trips to Japan that I first developed my taste for opera as a small child when I became a fan of Kabuki theatre. (Because Kabuki is so operatic!) Juilliard has been very important to me ever since I was seven years old when I entered the Pre-College Division. And it was at Juilliard a few years later when I sang in the children's chorus of LA BOHEME, an experience that forever made me an opera lover. More recently, I have been a guest coach at Juilliard for opera and lieder repertoire since 2005. So from childhood to adulthood, Japan and Juilliard have enriched my life.

I have been working for Maestro James Levine at the Metropolitan Opera as his musical assistant for 23 seasons. As all Japanese operagoers know, the Met has made several tours to Japan since 1975 and has a great affection for the Japanese people. And in 2010, the Metropolitan Opera Lindemann Young Artist Development and Juilliard Vocal Program began a partnership. To name just one result, Takaoki Onishi had the chance to sing with Maestro Levine and the Met Orchestra this past season in a concert of opera scenes.

Although by birth I am a NISEI, I feel equally Japanese and American. So I am tremendously happy to visit you and proudly discover new Japanese talent to bring back to America.

## 予選の詳細

予選		
日時	関東予選：7月1日(月)・2日(火)14:00～(13:30開場)	関西予選：7月4日(木)14:00～(13:30開場)
場所	関東予選：浜離宮朝日ホール	関西予選：イシハラホール
課題	予選では、以下の6曲からご自身で選んだ2曲を歌っていただきます。 本選では、全6曲が審査対象となります。	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 18世紀、またはそれ以前のイタリア芸術歌曲かイタリア・アリア</li> <li>2 英語の芸術歌曲（原語は英語に限る。英語に翻訳された曲は不可）</li> <li>3 自由曲（どの言語でもよい）</li> <li>4 オペラあるいはオラトリオからのアリア</li> <li>5 ドイツ歌曲</li> <li>6 フランス歌曲</li> </ol>	
ピアノ伴奏者	各自が依頼同伴する者としてします。	
審査員	栗林義信 (IFAC 副会長)、マルチェッラ・レアーレ、半田晴久 (IFAC 会長)	

※予選は、無料一般公開致します。

## Details of Pre-screening

Pre-screening		
Date	Tokyo : Monday, July 1 and Tuesday 2	Osaka : Thursday, July 4
Venue	Tokyo : Hamarikyu Asahi Hall	Osaka : Ishihara Hall
Audition Repertoire	Please fill out the six song titles on the application form in advance. At Pre-screening, please select two from this repertoire. (Judges may ask you to stop at any time during singing).	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 An Italian art song or aria from 18th century or before</li> <li>2 A song in English (not a translation)</li> <li>3 A third selection in any language</li> <li>4 An aria from an opera or oratorio</li> <li>5 One German Lied</li> <li>6 One French Melodie</li> </ol>	
Accompanist	Please bring your own accompanist for this audition	
Judges	Prof. Yoshinobu Kuribayashi (IFAC Vice Chairman), Prof. Marcella Reale, Dr. Haruhisa Handa (IFAC Chairman)	

## 公開講座の詳細

公開講座（予選通過者に受講いただきます）			
日時	2013年7月29日(月)・30日(火)14:00～	ピアノ伴奏者	各自が依頼同伴するものとします。
場所	第一生命ホール	指導	ブライアン・ジーガー (ジュリアード音楽部長) ケン・ノダ (メトロポリタン歌劇場音楽監督 ジェームス・レバイン・アシスタント)

※この公開講座は一般公開され、無料で聴講できます。

## Detail of Workshop

Workshop (for qualifiers)			
Date	Monday, July 29 and Tuesday, July 30	Accompanist	Please bring your own accompanist for this workshop.
Venue	Dai-ichi Seimei Hall	Instructors	Brian Zeger (The Juilliard School, artistic director of vocal arts) Ken Noda (Metropolitan Opera Musical assistant to James Levine)

※ Free admission to the public for this workshop.

## 本選の詳細

第1部 — ファイナル・ジャッジメント		第2部 — ファイナル・ウィナーズ・ジャッジメント (兼、ジュリアード音楽院入学1次試験)	
日時	2013年9月9日(月)・10日(火)	日時	2013年9月10日(火) 21:30～
場所	新国立劇場オペラパレス	場所	新国立劇場オペラパレス
課題	予選課題曲に同じ	課題	予選課題曲に同じ
ピアノ伴奏者	各自が依頼同伴するものとします。	ピアノ伴奏者	各自が依頼同伴するものとします。
指導・審査員	デイビッド・ポール (ジュリアード音楽院声楽部演技指導)	審査員	ジュリアード音楽院教授陣 (ニューヨークと衛星ライブ中継を結び審査)

※本選は、無料一般公開致します。

## Details of Final Competition

Part1 — Final Judgment		Part2 — Final Winners Judgment (as first-stage audition to The Juilliard School)	
Date	Monday, September 9 and Tuesday, September 10	Date	Tuesday, September 10 at 21:30
Venue	The Opera House in New National Theatre, Tokyo	Venue	The Opera House in New National Theatre, Tokyo
Repertoire	Same as Pre-screening	Repertoire	Same as the Pre-screening
Accompanist	Please bring your own accompanist for this audition	Accompanist	Please bring your own accompanist for this audition
Instructor	David Paul (Acting for Singers, Vocal Arts, The Juilliard School)	Judges	The Juilliard School professoriate (Live Broadcast by Satellite)

※ Both Pre-Screening and Finals will be open to the public.

## 応募資格

- 日本国籍を持つ日本人・高校卒業以上(2014年3月卒業予定者も含む)40歳まで
- 英語を学習する意欲のある方

※ 2次試験に臨むには、2014年2月15日までにTOEFL Score の提出が必要です。必要な点数は以下のとおりです。  
本選通過後、約5ヶ月あります。その間に、必用な方には英語特訓があります。

・Graduate Diploma 73(iBT), writing score 11以上 ・Master of Music 89(iBT), writing score 21以上

## 応募の際に必要な物(受験料は無料)

- 1 所定の応募用紙
- 2 推薦状1通(審査の対象ではありません)
- 3 写真3枚(縦5cm×横4cm)

3枚とも裏面に氏名を記入のこと。1枚は応募用紙に貼付けし、もう2枚は同封してください。

## 応募資格 応募書類一式を下記宛てに郵送してください。

〒167-0053 東京都杉並区西荻南2-18-9 菱研ビル2階  
ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC 応募係

## 応募書類受付期間

2013年6月1日(土)～6月21日(金)必着

※応募者多数の場合、早期締め切りとなる場合もあります。

※応募用紙、推薦状を受領後、IFAC事務局から、受験票とオーディション詳細を、6月28日(金)までにお届けします。それまでに届かない場合は、IFAC事務局までお問い合わせください。

### 〈お問い合わせ〉

NPO法人 世界芸術文化振興協会 (IFAC)

TEL:03-5336-3507 (電話対応:午前9時～午後6時、土・日・祝除く)

<http://www.ifac.or.jp/>

応募頂いた方の個人情報は、「第4回ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFAC」の選考、および本人への連絡用のみ使用し、本人の同意なく他の目的では使用致しません。

なお、ご提出頂きました写真および応募書類は返却致しませんので、あらかじめご了承ください。

## Qualifications for applying

- A person who should be Japanese citizenship with vocal ability equal to or higher than music college graduation, up to age 40.
- A person who is eager to study at The Juilliard School.
- A person who has a desire to study English.

※ You have to submit TOEFL score to The Juilliard School until February 15, 2014. There are five months till the deadline after the finals. If you need gaining English skills, IFAC provide you intensive English training.  
The minimum required TOEFL score is : 73 (iBT) with a minimum writing score of 11 for Graduate Diploma  
89 (iBT) with a minimum writing score of 21 for Master of Music

## what you need for applying (no Application fee is required.)

- 1 Prescribed application form
- 2 A letter of recommendation
- 3 3 photos (4cm × 5cm) Please fill out your name on the back of the three.  
Attach one to the application form and enclose the remaining two.

## How to apply Please send the above documents to the address below.

〈Mailing Address for Applications〉

Bishiken bldg. 2nd floor, 2-18-9 Nishiogi-minami, Suginami-ku, Tokyo 167-0053 Japan

## Acceptance period application forms

Saturday, June 1 – Friday, June 21

※Admission ticket to examination and details about the Pre-screening Audition will be sent to you by June 28. If you do not receive these documents, please contact IFAC.

### 〈For More Information〉

The International Foundation for Arts and Culture (IFAC)

Tel: +81-3-5336-3507 (9am – 6pm Monday –Friday)

<http://www.ifac.or.jp/>

Personal information on the application form for IFAC-Juilliard Prize Singing Competition will be used only for this audition.

All documents you send to IFAC will be used only for the purpose of the audition, and these documents will not be returnable.



IFACとジュリアード音楽院による、この夢のようなオーディションが、今年もまた開催されますことを心から嬉しく思っております。

私は、第1回ジュリアード音楽院声楽オーディション by IFACに合格し、ニューヨーク・ジュリアード音楽院を受験するという、夢のような経験をさせていただきました。日本からジュリアード音楽院を受験できる道を開いていただいた、半田会長には感謝に堪えません。そして、ジュリアード音楽院に入学できたことは、この上ない喜びです。

私がまだ日本で勉強していた時、ジュリアード音楽院は遙か遠くの存在でした。留学するということ自体も、半ばイメージだけで具体化せず、大学卒業後の先が見えず苦勞していたのを覚えています。しかし、そんな時に見つけたのが、このジュリアード音楽院声楽オーディション by IFACでした。

全国から優秀な声楽家を集め、その最終審査を衛星中継で日米同時に行うという、画期的なオーディションは、日本中、いやおそらく世界中どこを探してもそうないでしょう。

ジュリアード音楽院での学生生活は、素晴らしい音楽家との出会いと、新しい発見の連続です。ジュリアード音楽院は、世界屈指の名門校ですが、中でも声楽科は音楽家を育成するための、総合的なプログラムがそろっています。世界でも稀な徹底したコーチ陣、そしてきめ細やかな学生に対するケアが施されています。ディクシオン・コーチは、メトロポリタン歌劇場を始め、世界有数の歌劇場の言語指導をしている現役のエキスパートです。発声の指導には、世界的な歌手たちを多く輩出してきた、ベテランの声楽教師陣が指導して下さいます。私は幸運にも、これらのエキスパートがサポートするプロダクションに、ソリストとして、3つのオペラに参加する機会をいただきました。学ぶことは、音楽のことだけではありません。世界各国から生徒が集まり、様々な人々と接することで、一流の音楽家として必要な、人間性も学ばせていただいています。

このオーディションにより、私自身のキャリアや経験にも、大きな一歩が刻まれたことは間違いありません。

ジュリアードへの道は長く、確かに険しいものです。しかし、ジュリアード音楽院は、遙か遠いところではありません。半田会長が門戸を大きく開いてくださったお陰で、日本からかなり近くなっています。ニューヨークでは、日本では決して体験できない、何物にも代えがたい素晴らしい宝物がいっぱい詰まっています。

皆様にぜひ、このオーディションをきっかけに、新たな一歩を踏み出していただくことを、心から望んでおります。そして、同志である皆様と、ニューヨークでお会いできるのを、楽しみにお待ちしております。受験者の皆様の幸運を心よりお祈りします。

大西 宇宙



The experience of winning the first IFAC - Juilliard Prize Competition and then taking the final audition for The Juilliard School in New York in February seems like a dream. I am full of gratitude to Chairman Dr. Handa, who opened the path in Japan to taking the entrance examination for The Juilliard School.

As you know, The Juilliard School is renowned throughout the world because it stands at the pinnacle of music education and attracts top-level students from around the world to produce top-level musicians. Naturally, I learnt a lot from the invaluable experience of taking the entrance examination for The Juilliard School. In keeping with The Juilliard School's policy of "commitment to society through art", being examined in the audition tested my abilities comprehensively. At the reception held before the second part of the audition I remember the Artistic Director of Vocal Arts, Dr. Brian Zeger, telling me that "at the audition we look for human qualities". I was deeply impressed by the education policy at The Juilliard School because it doesn't just teach music but fosters people who are also fine musicians.

In addition to the test of singing skills, the school tested in various other ways, in a written test, through diction coaching, interview, and so on. And of course I had to deal with all these tests in English. In answering questions about the background to the songs I sang in the practical examination and in demonstrating the required knowledge of musical vocabulary, simple English was not enough, particularly in the interview and written examination. So, for someone like me who has had no experience overseas using English, my greatest obstacle was English. For the candidates for whom English is a foreign language, the first barrier to overcome is the TOEFL. I ended up having to face the examination after a very short period, just under three months. And the all important auditions and tests were also going on at the same time, so it was a rather difficult

situation I faced. However, with the help of very thorough tuition by a teacher from Eiken-ikkyu/ TOEIC/ TOEFL Juku who I discovered through the audition process, my TOEFL score remarkably improved.

The road to Juilliard is long and hard, but all the experiences of those who take the audition will surely enrich their musical lives. For my part, I will put what I have learnt for the audition to good use and keep on moving forward.

I look forward to a large number of talented singers gathering again this year. I hope that they too receive the wonderful benefits that I did and I look forward to them joining the fold of candidates who are granted the enriching experience of taking the entrance examination for The Juilliard School. I offer my best wishes to you all.

Takaoki Onishi



今回思いがけなくも最優秀賞を頂いたことは、この上ない喜びです。それにも増して、このオーディションを通じて明確な目標ができ、ニューヨークに留学する事ができました。この素晴らしい機会を作ってくださったIFAC半田会長には、本当に感謝しております。誠に、ありがとうございました。

ジュリアード音楽院を受験して、強く感じたことは、このオーディションは私が考えていた以上に価値があることに気づきました。主催の方々やジュリアード音楽院の先生方は、歌手のことと未来の音楽のことを、真剣に考えていることです。

本選のワークショップで、ジュリアード音楽院のブライアン・ジーガー氏らが強調されたことで印象に残っているのが、「歌手の人間性を重要視していること」と、「常に聴衆との関係を考えること」ということでした。「歌手の人間性は、必ず歌う姿勢に現れる」、そして「音楽家が聴く人(社会)との関係を深めることで、芸術は社会に貢献できる」という考え方は、歌手として身が引き締まる思いがしました。

さらに驚いたのは、実際にジュリアード音楽院の教授が来日して、公開レッスンを受講できることです。予選通過者一人ずつ指導してくださり、年齢制限も参加費もなく、音楽を志す全ての人たちに大きな機会が与えられているということでした。また、一般公開されており、受験生にとって緊張は大きいですが、より聴衆との関係を感じられる貴重なオーディションでした。

私は、様々なコンクールや試験に挑戦し、なかなか良い結果に恵まれなるときもありました。しかし、続けていけば、きっと新しい扉は見つかるとの周りの声に励まされて、このオーディションにチャレンジしたところ、数々の幸運が重なって、今、新たな世界に進むチャンスをいただけることになりました。音楽的なことだけでなく、私のライフスタイルに関わる大切なことも、このオーディションで学ぶことができました。

今後も、歌を愛する多くの方々が、この素晴らしい機会を得られることを願ってやみません。音楽を通して自分を磨き、社会と触れ合う同士が増えることは、私にとって大きな喜びになります。臆せず、恐れず、ぜひとも挑戦してみてください。きっと、何か新しい発見があることと思います。

最後に、これまで私を支え、応援してくださっている皆様方、そして、このオーディションに関わってくださった、全ての温かな皆様に感謝の意をお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。

竹下 みず穂



Unexpectedly being chosen for the IFAC-Juilliard Prize in this audition is the greatest thing that has ever happened to me. What's more is that through this audition I came upon a definite goal and am now spending every day with a fresh outlook, and I'm truly grateful for that. As a result, I was able to reach a decision to study abroad in New York. By attending the audition, I realized that the experience was more valuable than I thought, and I was impressed by how seriously the sponsors of the audition and the instructors from the Juilliard School of Music considered the vocalists and the future of music.

At the workshop during the final round, Juilliard School of Music instructor Brian Zeger's words left a lasting impression on me. He said that he "puts great importance on the humanity of the vocalist" and is "always considering the relationship with the audience." The ideas that "the humanity of a vocalist inevitably shows itself in her singing" and "by deepening the relationship between the musician and the audience (society), the art of music contributes to society" had a sobering effect on me as a vocalist.

What further surprised me was that such a great opportunity to receive the same individual instruction as an actual open lesson was offered to everyone with aspirations in music, no matter their age and without charge. While the fact that it was open to the public caused a certain tension in the auditioning vocalists, I felt that it contributed greatly to a feeling of rapport between the vocalists and the audience that was valuable to the audition.

There were times when I attended recitals and auditions without much success, but I was encouraged by the words of those around me that said a new door would open if I persistently continued. By taking up the challenge of this audition, several strokes of good fortune intersected, and I have been given the chance to move on to a new arena. Through the audition, I have learned important lessons, both musical and related to my personal lifestyle.

I would like other people who love singing to receive the same wonderful opportunity. It makes me very happy to think that there will be more fellow vocalists improving themselves and interacting with society through music. Please challenge yourself without apprehension and without fear. In doing so, I'm sure that you will make new discoveries.

In closing, I would like to extend my gratitude to everyone who has cheered and supported me up to now and to everyone involved in this audition. I truly thank you.

Mizuho Takeshita

## ジュリアード音楽院への提出書類について

Application Requirements for Admission to The Juilliard School

IFAC・ジュリアード最優秀賞受賞者は、ジュリアード音楽院2次試験（最終審査）申込の際、以下の書類をジュリアード音楽院に提出する必要があります。詳しくは、ジュリアード音楽院の公式ウェブサイト「入学申込のための提出書類」を、ご参照ください。

<http://www.juilliard.edu/>

The winner of IFAC-Juilliard Prize must submit the following for admission to The Juilliard School. Please read the “Program Information and Application Requirements” section on Juilliard’s website carefully.

<http://www.juilliard.edu/>

### 申込書 / Application

2013年12月1日までに提出。（12月1日までに、ジュリアード音楽院に届くようにお送り下さい）  
Must be submitted by December 1, 2013.

### 学業成績証明書 / Official Transcript

卒業日が記入されたものを、2014年2月15日までに提出。  
Must be submitted indicating that the graduation date is no later than February 15, 2014.

### エッセイ / Essay

申込書の一部として、2013年12月1日までに提出。エッセイのテーマは、ジュリアード音楽院より指定されます。詳細は、上記のジュリアード音楽院ウェブサイトをご参照ください。

All applicants are required to submit an essay as a component of the Application for Admission. The Juilliard School has specific topics for the essay. These are found on their website shown above.

### TOEFL

2014年2月15日までに、TOEFLスコアを提出。  
入学に必要なスコアは、以下のとおりです。本選通過後、約5ヶ月あります。その間に、必要なら英語特訓があります。  
準修士コースが73点(iBT)以上、ライティングセクション11点以上、  
大学院が89点(iBT)以上、ライティングセクション21点以上。

The minimum required TOEFL score is:  
73 (iBT) with a minimum writing score of 11 for Graduate Diploma.  
89 (iBT) with a minimum writing score of 21 for Master of Music by February 15th, 2014.



特定非営利活動法人(NPO)

## 世界芸術文化振興協会(IFAC)について

About the International Foundation for Arts and Culture (IFAC)

特定非営利活動法人(NPO法人)世界芸術文化振興協会(The International Foundation for Arts and Culture:IFAC)は、音楽および芸術関連イベントを通じて、社会福祉活動の支援を行うために、1996年に設立された公益団体です。1999年に東京都より、特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受けました。

IFACは、多くの方々のご支持により、2013年3月現在、約2,000人の個人及び法人会員を擁するところとなりました。また、IFACの目的と趣旨に賛同する多数の法人および個人からも、当会の活動に対する様々な形での後援、協賛、ご寄付を頂いております。

海外では、米国IFAC、英国IFAC、オーストラリアIFACが、それぞれ現地法に基づく公益団体として活動しております(米国公益法人、英国公益法人、豪州公益法人)。日本IFACは、これらの海外関連団体と幅広い協力・提携関係を保ち、国内外において様々な芸術、福祉活動を実践しています。

The International Foundation for Arts and Culture (IFAC) is a non-profit organization established for the purpose of promoting social welfare activities through music and arts-related events. Founded in 1996, it was officially recognized as NPO (authorized non-profit organization) by the government of Tokyo in 1999.

After its foundation, IFAC has been greatly supported by a number of people. It has approximately 2,000 individual and corporate members as of March 2013. Many corporations and individuals have given their approval to IFAC’s objectives and have contributed, assisted, and supported its activities in various ways.

IFAC has established IFAC-USA, IFAC-UK and IFAC Australia. These organizations are charitable entities in accordance with the laws of the respective countries. IFAC maintains broad cooperative relationships with each of these organizations and carries out art and welfare-related activities internationally in collaboration with each other.



2003年8月28日  
オペラ  
**「元禄のトラヴィアータ」**  
オペラ「ラ・トラヴィアータ」全三幕 イタリア語上演  
(G. ヴェルディ作曲)  
於:新宿文化センター 大ホール  
August 28, 2003  
Opera "La Traviata of Genroku Era"  
Opera "La Traviata" in three acts by  
Giuseppe Verdi  
Venue: Shinjuku Bunka Centre, Tokyo

2002年11月14日  
~和を以って貴しとなす~  
オペラ**「聖徳太子」**  
於:新宿文化センター 大ホール  
November 14, 2002  
Harmony as precious Opera  
"Prince Shotoku"  
Venue: Shinjuku Bunka Centre, Tokyo



2006年9月16日  
オペラ  
**「リゴレット in ジャパン」**  
オペラ「リゴレット」全三幕  
イタリア語上演  
(G・ヴェルディ作曲)  
於:新宿文化センター 大ホール  
September 16, 2006  
Opera "Rigoletto in Japan"  
Opera "Rigoletto"  
in three acts by G. Verdi  
Venue: Shinjuku Bunka Center

2007年9月13日  
オペラ  
**「大江戸版 好色男のファルスタッフ」**  
オペラ「ファルスタッフ」全三幕 イタリア語上演  
(ヴェルディ作曲「ファルスタッフ」)  
於:東京文化センター 大ホール  
September 13, 2007  
Opera "Lustful Falstaff in Edo Period"  
Opera "Falstaff" in three acts by G. Verdi  
Venue: Tokyo Bunka Kaikan



2004年5月30日  
オペラ**「楊貴妃」**  
於:天橋劇場、中国北京  
May 30, 2004  
Opera "Yang Guifei"  
Venue: Tianqiao Theatre,  
Beijing, China



2004年9月2日  
オペラ**「大正時代のボエーム」**  
オペラ「ラ・ボエーム」全四幕 イタリア語上演  
(プッチーニ作曲)  
於:ゆうほうと簡易保険ホール  
September 2, 2004  
Opera "La Bohème in Taisho Era"  
Opera "La Bohème" in four acts by G. Puccini  
Venue: Yu-port Kan-i-Hoken Hall



2008年9月19日、21日  
オペラ  
**「大江戸版 好色男のファルスタッフ」**  
オペラ「ファルスタッフ」全三幕 イタリア語上演  
(ヴェルディ作曲「ファルスタッフ」)  
於:新宿文化センター 大ホール  
September 19 & 21, 2008  
Opera "Lustful Falstaff in Edo Period"  
Opera "Falstaff" in three acts by G. Verdi Shinjuku Bunka Ce



2005年9月15日  
オペラ  
**「雛祭りのフィガロの結婚」**  
オペラ「ファイガロの結婚」全四幕 イタリア語上演  
(W.A.モーツァルト作曲)  
於:ゆうほうと簡易保険ホール  
September 15, 2005  
Opera "Le Nozze di Figaro at  
the Hinamatsuri Girls"  
Venue: Yu-port Kan-i-Hoken Hall



2009年9月27日・30日  
オペラ**「ゼウスの化身  
怪人ドン・ジョヴァンニ」**  
オペラ「ドン・ジョヴァンニ」全二幕 イタリア語上演  
(W.A.モーツァルト作曲)  
於:新宿文化センター大ホール  
September 27 & 30, 2009  
Opera "Don Giovanni - The Phantom-Avatar of Zeus"  
Opera "Don Giovanni" in three acts by W. A. Mozart  
Venue: Shinjuku Bunka Center



2010年9月24日・26日  
オペラ**「ナブッコ」・我が愛する地球よ!**  
オペラ「ナブッコ」全四幕 イタリア語上演  
(G. ヴェルディ 作曲)  
於:新宿文化センター大ホール



2005年10月19日-21日  
スーパーオペラ**「楊貴妃」**  
於:新宿文化センター  
October 19-21, 2005  
Super Opera "Yang Guifei"  
Venue: Shinjuku Bunka Center

September 24 & 26, 2010  
Opera "Nabucco - Our Beloved Earth"  
Opera "Nabucco" in four acts by G. Verdi  
Venue: Shinjuku Bunka Center